

○第60回（令和6年3月25日）排砂評価委員会評価

令和6年度連携排砂計画（案）及び連携排砂に伴う環境調査計画（案）については、以下の意見を付して了承する。

- ① 連携排砂計画（案）については、より自然に近い土砂動態に向けての宇奈月ダム先行操作の試験的な実施を継続し、引き続き効果の検証を行い、次回の排砂評価委員会で報告すること。
- ② 環境調査計画（案）については、土砂動態の予測・評価手法の向上や連携排砂に伴う環境影響の把握の観点から、過去からの調査結果や各専門の委員の意見を踏まえ、環境調査の適切な実施に努めること。また、環境DNA調査手法の導入など、調査のスマート化に向けて検討を進めること。
- ③ 「出し平ダムにおける5月堆砂測定のスマート化」について導入に向けた検証を実施すること。
「中止基準流量の妥当性と今後の運用に向けた検討」について、データ及び各種シミュレーション結果等によれば今回仮定した $110\text{m}^3/\text{s}$ 程度まで中止基準流量を低減させても河川環境や河道状況に大きな差が無いものと推測される。
中止基準流量の変更については、関係団体への丁寧な協議調整を行うこと。

以 上